

暑さなんの動きに切れ

光星ナイン 主砲益田ら快音

第98回全国高校野球選手権の本県代表・八学光星ナインは3日午前、兵庫県尼崎市のベイコム野球場で練習を行った。気温30度を超える暑さの中、選手たちは切れのある動きを見せた。

午前9時ごろから約2時間、シートノックや打撃練習に汗を流した。打撃では球速約140キロに設定したヒッチングマシンで速球を打ち込み、近距離バッティングでは2人の打撃投手の球をほぼ返した。

仲井監督から「速い球は、その球速をうまく利用して打て」などとアドバイスがある中、ナインはコースに逆らわず広角に打ち分け、鋭いライナー性の打球を飛ばしている。

ナインは4日午前、同球場で練習を行った後、



打撃練習で快音を響かせる主砲益田。3日午前、兵庫県尼崎市・ベイコム野球場

午後は組み合わせ抽選会に臨む。
(本田海輝)

光星
甲子園だより

かいと 海都 内野手(3年)



練習用帽子の裏には、常に明るく元気で「この思いを込め、大きな文字で「こっつええ感じ」の文字。「声は誰にも負け

調子 ごっつええ感じ

「大阪府・今津中出身。175センチ、77キロ、右投げ右打ち」

「調子はいい感じ」

「大阪府・今津中出身。175センチ、77キロ、右投げ右打ち」

益田、地元球場に笑顔

○…尼崎市出身の八学光星の益田は、小学6年生以来6年ぶりにベイコム球場の土を踏み、「小学生の時はずいぶん広いと思って

いたが、今はそつでもない。成長したと感ずる」と笑顔で話した。

中学時代の友人が練習を見守る中、逆方向を意識した力強いスイングで打球を飛ばし、「しっか

りバットを振れている」と納得。4日に行われる組み合わせ抽選については、「どこか近所でも自分たちの野球をやるだけ」と気合を入れている。